笑顔輝く　せたっこ通信

令和６年２月
大津市立瀬田幼稚園

あっという間に２月も中旬となりました。春を思う暖かい日もあれば、また冬に戻る日もあり、「今日は暖かい？寒い？」と戸惑いますね。でも、こうして三寒四温を繰り返しながら春に向かっていくのですね。

それぞれの学年の修了まであと１カ月程となりました。子ども達が自信をもって進学・進級できるように過ごしていきたいと思います。

節分の日に

２月３日の節分に合わせ（タイムリーでなくてすみません）１日には七輪でイワシを焼きました。煙が立ち込め、魚の匂いにつられて次々と子ども達がやってきました。「この魚は何ていう名前か知ってる？」と聞くと「知ってる！！サケ！！」と元気よく答えてくれたき組さん。「ほんまや～サケの匂いや！」と鼻をクンクンさせていました。「この魚はイワシっていう名前。」と言うと「知ってる～イワシやと思ってた！」「イワシ食べたい」と子どもらしい反応に頬が緩みました。

子ども達には「鬼が家に来ないようにイワシ焼くときに出る煙と匂いで追い払って尖った柊の葉っぱを玄関に飾ることで鬼が家に入って来ないようにするん。」
（所説ありですが）
と話をすると、真剣な表情で聞いてくれていました。

５歳児はイワシの名前を知っている子どももたくさんいましたが、七輪で魚を焼く様子に興味をもって見ていました。

柊は地域の方が子ども達にと持って来てくださいました。

そして翌日の２日には同じ七輪で豆を炒りました。昨日とは違って香ばしい匂いと「豆まきをする！！」と意気込んで来ているので、子ども達が逞しく見えました。５歳児は大きな折り紙に挑戦し、三宝を折りました。３歳児は鬼のお面、４歳児は鬼とお福のリバーシブル（？）のお面をつくりました。

「鬼は外～　福は内～」元気な声が響き渡りました

朝の正門で…

毎朝、正門で子ども達が保護者の方と登園して来る様子を見ることが好きです。元気に「おはようございます。」と挨拶をしてくれる子ども達が増えてきてきました。幼稚園に行くことが、ちょっぴり気が進まない日もあると思います。幼稚園に着いて友達と出会うことで気持ちが切り替わり、「行ってきます。」と歩み出すこともあります。門の所で保護者の方とさようならをして、園舎に向かって歩く姿に子ども達の成長を嬉しく思っています。そして、その姿を見送られる保護者の方の表情に、深い愛を感じています。時間にすると数分のことですが、保護者の方の言葉がけや眼差し、子どもの表情の変化、「おはよう。」と言えたことの喜びなど、それぞれに毎日ドラマがあると感じています。

先日、研修で絵本作家の長谷川 義史 氏の講演を聞く機会がありました。その時に『ようちえんいやや』の絵本を紹介されました。この絵本を読むと子どもの気持ちを垣間見ることができます。ぜひ手にとってみてください。

幼稚園にもありますよ。